

皐月、さわやかな五月です。

新入生も学校になれはじめ、学校がいきいきと活動を始めたころになりました。とはいえ、ゴールデンウィークが終わると、三学期制の学校では後半には中間考査がはじまります。いつ授業やるのという感じですが、勉強には節目も必要。そのバランスが難しいところです。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【 1 】最新活動報告

4月の活動を報告します。

【 2 】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】授業のヒント

【 1 】最新活動報告

4月に行われた部会の様子を報告します。

■名古屋部会 (No. 1) を開催しました。

日時：2015年4月11日(土) 16時30分～18時30分

場所：金城学院大学サテライト

参加者：中、高、大の先生方16名。

内容の概略：

- (1) はじめての名古屋部会でした。最初に、野間先生(同志社大学)より経済教育ネットワークの趣旨や活動の紹介後、参加者による自己紹介と意見交換を行いました。
- (2) 意見交換では、①経済分野の扱いで自由度の高い学校とそうでない学校があること、②経済から先に教える学校があり、その是非、③株式投資ゲームブルサ等の体験型教材の活用の紹介、④「現地現物」による企業等の見学による学習、⑤受験希望の生徒には経済が入試科目にないために学ぶ目的が明確化できない、一方で就職希望の生徒には社会人になる上で経済は必須ではないか等の活発な発言がありました。
- (3) 今後の部会の進め方については、教材や授業実践の紹介、「ものづくり愛知」を知るために経済活動の現場の見学等を行うこととなりました。また、機会をとらえ、広く参加を呼びかけることが確認されました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya001reportR.pdf>

■東京部会 (No. 74)を開催しました。

日時：2015年4月16日(火) 19時00分～21時30分

場所：日本大学経済学部

参加者：13名

主な内容：

(1) 夏の先生のための経済教室のプログラムの確認を行いました。

主な内容は下のイベント欄にあります。正式のプログラムと募集要項は、東京証券取引所のHPに6月上旬にアップする予定になっています。

(2) 教材検討委員会（東京）が取り組んでいる新教材『たこ焼き屋ヤッキー』の検討を行いました。原案を作成した升野先生（筑波大学附属中）から説明ののち、討議では、元手と売り上げの図が十分では無いのではないか、利潤の源泉を考えるには、ヤッキー君が出資者、経営者、労働者と言う三つの顔を持っている個人事業者であることをもっとわかるようにした方がよいのでは等の意見が出されました。

(3) テストの持ち寄りには、升野先生が中三の公民的分野のものを持参されましたが、検討する時間がなく、次回以降の課題となりました。

(4) 教材の検討が二件ありました。一つは、大倉先生（千葉県立松戸向陽高）の「減価償却の考え方」です。これは、A君の朝食を例にして、費用を計算させるもので初日バターロールだけ、二日目ジャムが入り、三日目お皿が入った時のそれぞれ一回分の費用を計算させながら、減価償却の考え方を教える内容です。質疑では、消費財で減価償却を教えること、現実に減価償却は均等割りでおこなうことはないのではなどの質問がだされましたが、考え方を教える教材としておもしろいという評価を受けました。また、本来複利で考えるべき内容であるが、単利で計算する設定にしてあり、複利計算ができない生徒が多い実態を解消する方策が必要との問題が大倉先生から提起されました。

もう一つは、埴先生（都立府中東高）の「時間の経済学—あなたはアリ？それともキリギリス？」です。これは、加藤先生（慶応大）が作成した「幸せの人生を“経済しよう”」を踏まえた教材です。設問の仕方を工夫することで現在割引価値の考え方を教える教材になりうるということで、今後大阪部会での検討を経て、教材化を進めることになりました。

(5) 年次大会の総括、今後に関しては時間がなく、取り上げることができませんでしたが、年次大会に関しては、次回はシンポジウム方式を取らず、経済教育のそもそも論を参加者と討議するスタイルを考えるという意向が篠原代表から表明されました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo074report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからのイベント、5月以降の部会（開催順）を紹介します。

■夏の経済教室のプログラムが決まりました。

東京証券取引所との共催で続いている「先生のための夏の経済教室」。今年は8回目となります。そのプログラムの概要が決まりました。

*日程と会場（既報）

8月3, 4日（中高向け、名古屋会場、ウインクあいち）

8月6, 7日（高中むけ、大阪会場、国民会館）

8月13, 14日（東京会場、高校向け、東証ホール）

8月17, 18日（東京会場、中学向け、東証ホール）です。

*主な内容と講師

講演：大竹文雄先生（大阪大学）「市場経済への信頼と教育」

大竹先生を中心に調査がすすめられた隠れたカリキュラムの教育への影響を中心に、経済教育の進め方についてお話しいただく予定です。

講義：マクロ経済・ミクロ経済の講義、Basic講座、歴史シリーズ、教科書で教えるシリーズ、金融シリーズ、入試問題を使った経済授業など、これまで好評だった内容をブラッシュアップした講義を予定しています。講師はネットワークメンバーが担当します。なお、今年は、あらかじめ講師の先生に質問事項や話してもらいたい項目を提示して、それに答えてもらうインタラクティブ型の講義の導入を予定しています。

*主な講師の先生方とタイトル：（敬称略）

「中学教科書で教える経済的な見方、考え方（東洋大学・栗原）」

「中学教科書で教える労働（同志社大学・野間）」

「中学教科書で読み解く市場（京都学園大学・篠原）」

「教科書で教える企業情報の見方（東京証券取引所・榊原）」

「高校教科書で教える国民所得（日本大学・小巻）」

「経済学から見る地方創生－震災復興を中心として－（日本大学・中川）」

「歴史分野を経済で読み解く－金本位制・世界恐慌・ブロック経済（篠原）」

「経済学習におけるアクティブラーニングの進め方（国立教育研・大杉）」

「高校教科書の比較から企業の教え方を考える（昭和音楽大学・梶ヶ谷）」

「大学入試問題を活用した経済学習の進め方（同志社大学・西村）」

「資源環境問題と希少性を教える」（日本体育大学・猪瀬）」

実践報告は以下の先生方が登場します。

中学校－河原、升野、兼間、加藤、蒔田、奥田、三枝の先生方。高校－埴、山崎の各先生。

会場ごとの担当者と講義内容の一覧は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

■大阪部会 (No. 43) を開催します

日時：2015年5月9日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka43flyerR.pdf>

■札幌部会 (No. 13) を開催します

日時：2015年5月16日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR札幌駅紀伊国屋のビル)

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo013flyer.pdf>

■東京部会 (No. 75) を開催します

日時：2015年5月20日(水) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo075flyer.pdf>

■名古屋部会 (No. 2) を開催します

日時：2015年6月13日(土) 15時30分～17時30分

場所：金城学院大学サテライト

名古屋市中区錦三丁目15番15号 CTV錦ビル4階

(セントラルパーク地下街10A出口前)

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya002flyer.pdf>

■京都部会 (No. 29) を開催します

日時：2015年6月19日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto029flyerM.pdf>

【 3 】授業のヒント

■二つの問いから四つの世界をつくる

混沌とした世界を整理する方法です。

二つの問いを用意して、生徒に選ばせて、自分が選んだ世界を考察させるという授業です。

経済でいえば、「あなたは自由をもとめますか。それとも平等をもとめますか。」という問いと、「みんながばらばら勝手に活動する世界と、だれかの指令できっちり活動する世界とどちらがよいですか。」という問いを選ばせると

四つの経済世界が描けます。座標の形で書けば、第一象限（自由・勝手）は市場経済、第二象限（自由・指令）は混合経済、第三象限（平等・指令）は社会主義経済、第四象限（平等・勝手）は社会主義市場経済となります。

これは理念型ですから、現実の経済社会がどこに位置するかをさらに考えさせてみると、例えば、社会主義市場経済を標榜する中国経済が、実態としては市場経済になっていることや、米英の経済とヨーロッパの経済が異なる場所にいることなどが浮かび上がります。

こんな単純に世界を分けてよいのか、二項対立で分類してもよいのかななどの批判はあるでしょうが、分類して世界をとらえる方法を教えておくことで、様々な応用が可能になるはずです。

ちなみに、「現代社会」や「倫理」の青年期で登場することもある、心の四つの窓（ジョハリの窓）も二つの問い（知っている自分、他人から見た自分）からこころの分類をしたものです。

先生方も、二つの問いをたくさん作って、試してみたらいかがでしょうか。
(新井)

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

四月から教員生活第三ステージに入りました。優雅な？リタイア生活を想定していたのですが、後任の非常勤講師がとれないので、特任で出講してくれないかとの要請をうけ、四月の後半から、急遽、週二回古巣に戻ることにになりました。出戻り老人再登場という感じです。「お別れの挨拶もしたのになぜ先生ここにいるの？」と生徒もびっくりしていました。ということで、もうすこし現場の空気に触れることになりました。こんなこともあるんですね。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆